

リクソーUCITS ETF MSCI ワールド
LYXOR UCITS ETF MSCI WORLD
フランス籍指数連動型上場外国投資信託

交付運用報告書

作成対象期間(計算期間)

第 9 期

2014 年 3 月 31 日～2015 年 3 月 31 日

〈お知らせ〉

運用報告書は、法令の改正により「交付運用報告書」と「運用報告書(全体版)」に分けて作成することとなりました。本書は「交付運用報告書」です。「運用報告書(全体版)」は下記の方法にて閲覧または入手していただけます。

第 9 期末(2015 年 3 月 31 日) (ユニット米ドルの状況)		
1 口当たり 純資産価額	ユニット米ドル	1.7579 米ドル
ファンド純資 産総額	1,528,862,714.95 ユーロ	
第 9 期 (2014 年 3 月 31 日～2015 年 3 月 31 日)		
パフォー マ ンス	ユニット米ドル	5.94 %
1 口当たり 分配金額	ユニット米ドル	0.02 ユーロ

(注 1)パフォーマンスは、分配金を再投資したものと計算しています。以下同じです。

(注 2)本ファンドには、ユニット D-ユーロ、ユニット D-米ドル、ユニット月次ヘッジ D-ユーロ、ユニット月次ヘッジ D-米ドル、およびユニット米ドルの 5 つのクラスが存在し、本ファンド自体の計算期間としては、2015 年 3 月 31 日が第 9 期の末日となります。ユニット D-ユーロ、ユニット D-米ドル、ユニット月次ヘッジ D-ユーロおよびユニット月次ヘッジ D-米ドルについては、本書による報告は行われません。

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。さて、「リクソーUCITS ETF MSCI ワールド」(以下「本ファンド」または「ファンド」といいます。)は、このたび、第 9 期の決算を行いました。

本ファンドは、リクソーUCITS ETF MSCI ワールド・ネット・トータル・リターン指数への連動を目指して運用を行いました。本ファンドのユニット米ドルの今期の運用経過等について、以下の通りご報告いたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

その他記載事項

▶ 本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。同書は、本ファンドの管理会社の日本の関係会社であるリクソー投資株式会社のウェブサイト

(<http://www.lyxor.co.jp/about-lyxor-paris/etf/>)において電磁的方法により提供しております。

◆管理会社

リクソー・インターナショナル・アセット・
マネジメント

(LYXOR INTERNATIONAL ASSET MANAGEMENT)

▶運用報告書(全体版)は受益者の御請求により交付されます。

交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

I. ファンドの仕組み(運用方針を含む。)

投資目的

ファンドの投資目的は、ファンドのパフォーマンスと MSCI ワールド・ネット・トータル・リターン指数(以下「ベンチマーク指数」という。)のパフォーマンスの間のトラッキング・エラーを最小限に抑えながら、MSCI ワールド・ネット・トータル・リターン指数の動きを(それがどのように展開しようとも)再現することです。

投資戦略

ファンドは、2009年7月13日付欧州指令2009/65/ECに規定されている投資規則に従います。ベンチマーク指数のパフォーマンスと可能な限り最高の相関関係を達成するため、ファンドは、(i)貸借対照表上の資産のバスケットの購入および特に国際株式銘柄の購入、ならびに(ii)ファンドの貸借対照表上の資産へのエクスポージャーをベンチマーク指数へのエクスポージャーに転換することにより、ファンドの投資目的を達成することを可能とする、先物スワップ契約の締結を利用することができる方法である間接的な複製方法を通じて、ベンチマーク指数のエクスポージャーにさらされることになります。

ファンドの株式・資産は、主にベンチマーク指数を構成する株式ならびに小型株市場を含むすべての市場で上場されているすべての経済セクターからの他の欧州銘柄の株式です。

ファンドの株式・資産は、ベンチマーク指数を再現する費用を制限するため、およびベンチマーク指数のパフォーマンスに近い株式バスケットのパフォーマンスを得るために選択されます。

(i) 契約型投資信託のポートフォリオに保有される資産のバスケットの更新された構成および(ii) 契約型投資信託によって締結されたスワップ契約の価値に関する情報は、ウェブサイト www.lyxoretf.com で利用可能なファンド専用ページで閲覧できます。更新の頻度および/または上記情報が更新される日もまた、上記ウェブサイトの同一のページに記載されています。

契約型投資信託の資産の少なくとも75%は、(i) 欧州連合(EU)の加盟国または(ii) 税金詐欺もしくは租税回避と戦うことを目的とする行政援助規定を含む、フランスとの租税条約を締結している欧州経済領域についての協定の当事者である他の国に登録上の事務所を有する会社に、恒久的に投資されます。この最低保有水準は、ファンドをフランスの株式節約計画(PEA)に適切とします。

ファンドの投資運用の一部として、ファンドの資産の20%まで、同一の発行会社からの株式に投資できます。この20%の制限は、単一の発行体について例外的な市場の状況により正当化される、特に一定の有価証券が十分に支配的であり、および/またはベンチマーク指数において代表される経済セクターにリンクする金融商品もしくは有価証券に強いボラティリティがある場合、35%まで増やすことができます。

これは特に、ベンチマーク指数に含まれる有価証券に影響を与える公募の期間の場合、またはベンチマーク指数に含まれる金融商品の流動性に重大な制限がある場合に可能性があります。

ベンチマーク指数

ベンチマーク指数は、米ドル建ての MSCI ワールド・ネット・トータル・リターン指数です(配当金(純額)再投資)。ベンチマーク指数は、国際指数提供会社である MSCI によって計算され、公表されている株式指数です。それは、先進国市場のパフォーマンスを総計したものを測定します。

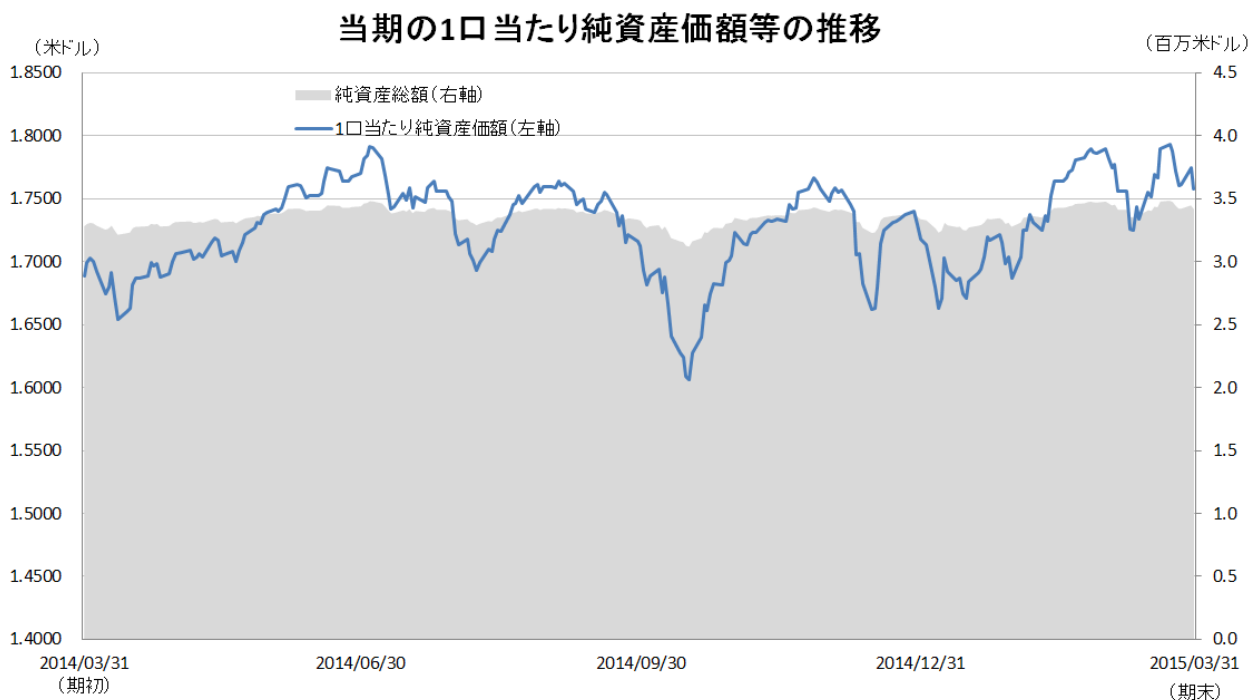
2006年3月31日現在、MSCI ワールド指数は、23の先進国の市場に上場された1798銘柄の株式から構成されています。それらの先進国は、ドイツ、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、デンマーク、スペイン、アメリカ合衆国、フィンランド、フランス、ギリシャ、香港、アイルランド、イタリア、日本、ノルウェー、ニュージーランド、オランダ、ポルトガル、イギリス、シンガポール、スウェーデン、スイスです。

ベンチマーク指数は、これら23の先進国のそれぞれの MSCI 指数の結合から組み立てられています。ベンチマーク指数における各株式の組み入れ比率は、その自由変動に基づく市場時価総額に沿って調整されます。その結果、ベンチマーク指数における株式銘柄数は、月日の経過とともに変更されることがあります。MSCI の方法論および計算方法は、ベンチマーク指数における変動する会社数に基づいています。

ベンチマーク指数の組成についての十分な説明および完全な方法論、ならびにベンチマーク指数構成要素の組成およびそれぞれの組み入れ比率に関する情報は、遅くとも2014年2月までに入手可能となります。観測されたパフォーマンスは、ベンチマーク指数の終値に基づくものです。

II. ファンドの運用の経過

(イ) 基準価額等の状況(ユニット米ドルの基準価額等の状況)



期初の一口当たり純資産価額(2014年3月31日): 受益証券1口当たり1.6890米ドル(約205円)

期末の一口当たり純資産価額(2015年3月31日): 受益証券1口当たり1.7579米ドル(約213円)

パフォーマンス(2014年3月31日～2015年3月31日): 5.94%

(注1) 期中における基準価額の状況については、「III. 運用状況の推移」を参照。

(注2) ファンドの投資信託財産に係る運用方針との関連については、「I. ファンドの仕組み(運用方針を含む)」および「III. 運用状況の推移」を参照。

(注3) 便宜上、ユーロは1ユーロ=136.06円の換算率(2015年8月31日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行における対顧客電信直物売買取相場仲値)により換算されています。以下同じ。

(注4) 便宜上、米ドルは1米ドル=121.18円の換算率(2015年8月31日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行における対顧客電信直物売買取相場仲値)により換算されています。以下同じ。

(注5) パフォーマンスは、分配金を再投資したものとして計算されています。

(ロ) 今後の運用方針

ファンドの投資目的は、引き続き、ファンドのパフォーマンスとMSCIワールド・ネット・トータル・リターン指数のパフォーマンスとの間のトラッキング・エラーを最小限に抑えながら、MSCIワールド・ネット・トータル・リターン指数の動きを(それがどのように展開しようとも)再現することです。

(ハ) 当期中に権利の確定した1単位あたりの収益分配金

0.02 ユーロ

III. 運用状況の推移

(イ) 純資産価額等の推移

ユニット米ドルについての各会計年度末の一口当り純資産価額および 2014 年 3 月 31 日から 2015 年 8 月末日までの各月末の一口当り純資産価額の推移ならびに対応する指数の推移

	ユニット米ドル		MSCI ワールド指数	MSCI ワールド・ネット・ トータル・リターン指数
			指数の推移	指数の推移
	米ドル	円	(指数変更前)	(指数変更後)
第 1 会計年度末 (2007 年 3 月 30 日)	1.53	185	1,514.18	-
第 2 会計年度末 (2008 年 3 月 31 日)	1.44	174	1,437.40	-
第 3 会計年度末 (2009 年 3 月 31 日)	0.80	97	805.22	-
第 4 会計年度末 (2010 年 3 月 31 日)	1.20	145	1,200.53	-
第 5 会計年度末 (2011 年 3 月 31 日)	1.3437	163	1,334.93	-
第 6 会計年度末 (2012 年 3 月 30 日)	1.3166	160	-	3,293.17
第 7 会計年度末 (2013 年 3 月 29 日)	1.4488	176	-	3,683.36
第 8 会計年度末 (2014 年 3 月 31 日)	1.6890	205	-	4,385.73
第 9 会計年度末 (2015 年 3 月 31 日)	1.7579	213	-	4,649.99
2014 年 4 月末日	1.7061	207	-	4,430.67
2014 年 5 月末日	1.7394	211	-	4,517.84
2014 年 6 月末日	1.7703	215	-	4,598.66
2014 年 7 月末日	1.7221	209	-	4,525.21
2014 年 8 月末日	1.7601	213	-	4,624.93
2014 年 9 月末日	1.7123	207	-	4,499.46
2014 年 10 月末日	1.7233	209	-	4,528.57
2014 年 11 月末日	1.7578	213	-	4,619.32
2014 年 12 月末日	1.7183	208	-	4,544.84
2015 年 1 月末日	1.6871	204	-	4,462.49
2015 年 2 月末日	1.7859	216	-	4,723.94
2015 年 3 月末日	1.7579	213	-	4,649.99

2015年4月末日	1.7991	218	-	4,759.05
2015年5月末日	1.8052	219	-	4,775.44
2015年6月末日	1.7632	214	-	4,664.40
2015年7月末日	1.7645	214	-	4,748.13
2015年8月末日	1.6479	200	-	4,433.92

(注1) ユニット米ドル(旧名称:ユニット E)は2007年3月20日に設定されました。

(注2) 便宜上、ユーロは1ユーロ=136.06円の換算率(2015年8月31日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行における対顧客電信直物売買取相場仲値)により換算されています。以下同じ。

(注3) 便宜上、米ドルは1米ドル=121.18円の換算率(2015年8月31日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行における対顧客電信直物売買取相場仲値)により換算されています。以下同じ。

(注4) 2010年5月末日までは一口当りの純資産価額を少数点以下第2位までしか算出・公表しておりませんでした。

(注5) 2011年6月6日に、ベンチマーク指標がMSCIワールド指数からMSCIワールド・ネット・トータル・リターン指数に変更されました。以下同じ。

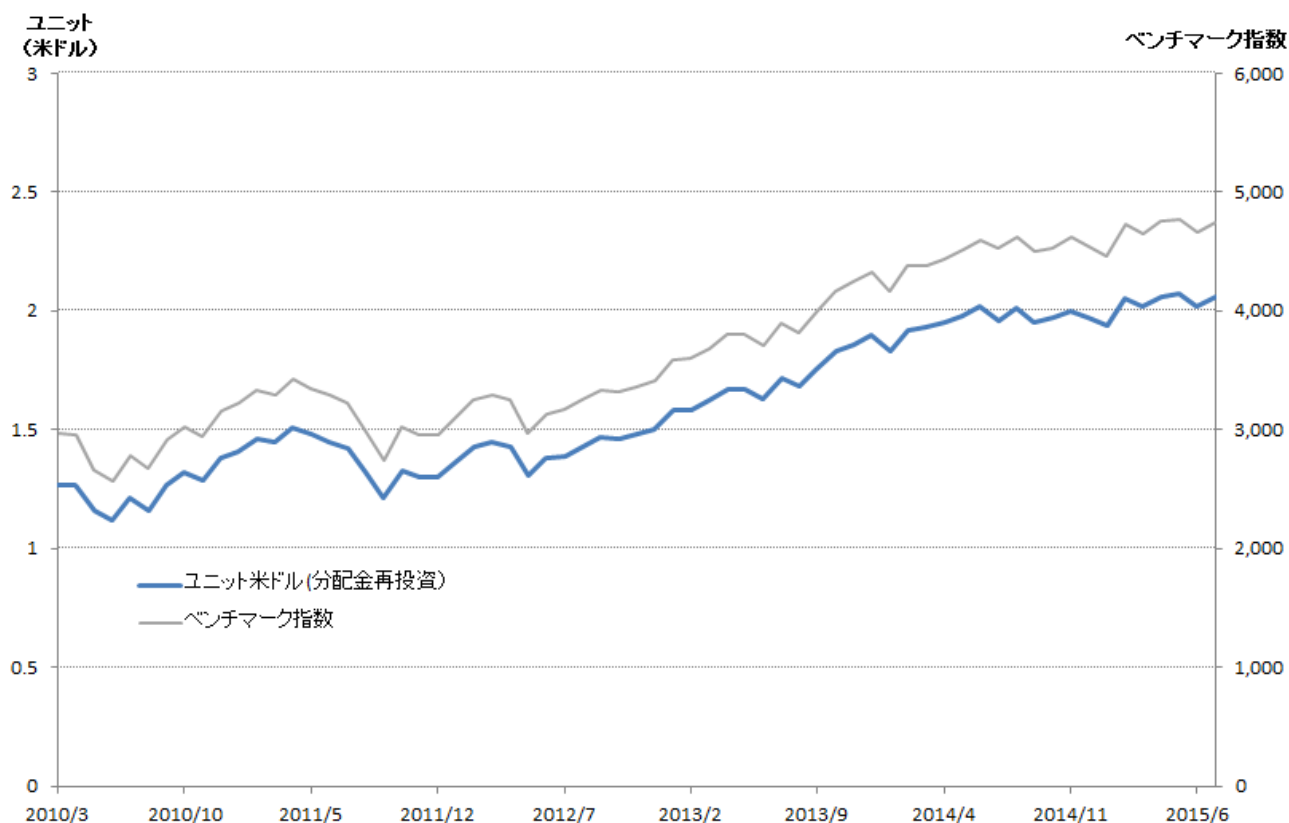
(注6) 2011年6月6日に、ユニットEはユニットA-米ドルに名称変更されました。

(注7) 2011年6月15日に、ユニットA-米ドルはユニット米ドルに名称変更されました。

2014年3月31日から2015年3月31日までの間のリクソーUCITS ETF MSCI ワールドのユニット米ドル(米ドル建て)のパフォーマンスは5.94%でした。同じ期間の該当する指数のパフォーマンスは6.03%でした。

(注8) ここに記載したパフォーマンスは申込および償還手数料、ファンドユニットのコストによる影響を考慮していません。

(ロ) 分配金再投資一口当たり純資産価額(パフォーマンス)の推移



(注1) 上記グラフは、分配金再投資1口当たり純資産価格(左軸)で、実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) ベンチマーク指数は、2011年6月6日の割合を基準として、2011年6月6日以前のMSCIワールド指数を、MSCIワールド・ネット・トータル・リターン指数に換算して表示しております。

(ハ) 収益分配金の推移

一口当たりの分配金(ユニット米ドル)

	ユーロ	円
第1会計年度末 (2007年3月30日)	-	-
第2会計年度末 (2008年3月31日)	0.02 ^(注1)	2
第3会計年度末 (2009年3月31日)	0.01 ^(注2)	1
第4会計年度末 (2010年3月31日)	0.01 ^(注3)	1
第5会計年度末 (2011年3月31日)	0.01	1
第6会計年度末 (2012年3月30日)	0.02	2

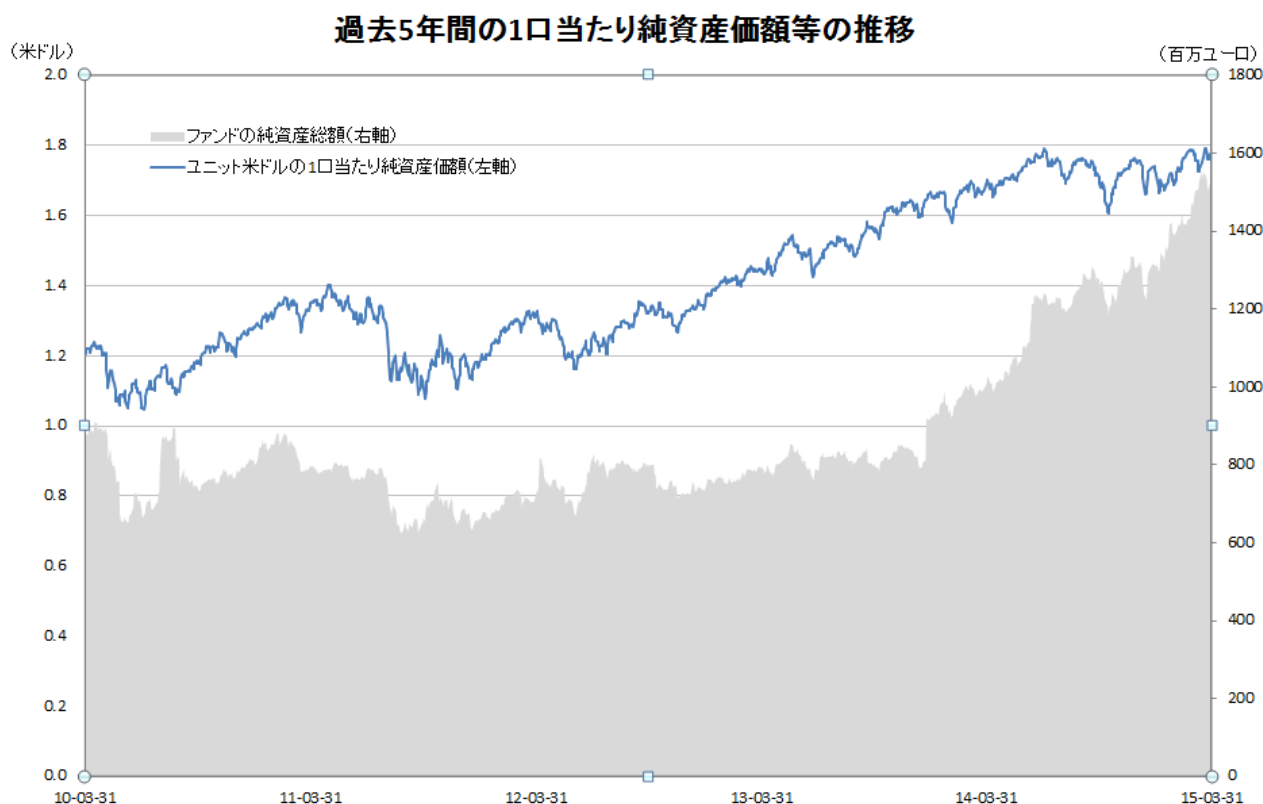
第7会計年度末 (2013年3月29日)	0.02	2
第8会計年度末 (2014年3月31日)	0.02 ^(注4) (米ドル)	2
第9会計年度末 (2015年3月31日)	0.02	2

(注)第8会計年度末以外の一口当りの分配金は、当ファンドの会計処理上の通貨建(ユーロ)で表示されています。

- (注1) 1口当たり分配金の金額は米ドル建てで支払われた分配金0.04米ドルを、2007年9月7日WMロイター配信のユーロ/米ドル仲値1.37635で換算して算出されています。
- (注2) 1口当たり分配金の金額は米ドル建てで支払われた分配金0.02米ドルを、2008年9月5日WMロイター配信のユーロ/米ドル仲値1.42645で換算して算出されています。
- (注3) 1口当たり分配金の金額は米ドル建てで支払われた分配金0.02米ドルを、2009年9月11日WMロイター配信のユーロ/米ドル仲値1.46125で換算して算出されています。
- (注4) 第8会計年度(2014年3月31日に終了した会計年度)の1口当たり分配金の金額は、ユニット米ドルクラスの基準通貨である米ドルによって、2014年7月14日に分配金が支払われています。

IV. 純資産及び受益証券の基準価額の状況

最近5年間の各会計年度末のユニット米ドル1口当たりの純資産価額およびファンドの純資産総額等の推移について



	ユニット米ドル一 口当たり純資産価額 (米ドル)	ユニット米ドル一 口当たり分配金額 (ユーロ)	ユニット米ドル パフォーマンス (%)	ベンチマークの パフォーマンス (%)	ファンドの純資産 総額(ユーロ)
第4会計年度末 (2010年3月31日)	1.20	—	—	—	868,462,916.06
第5会計年度末 (2011年3月31日)	1.3437	0.01	12.88	11.19	792,096,420.38
第6会計年度末 (2012年3月30日)	1.3166	0.02	0.28	-0.12	721,630,325.90
第7会計年度末 (2013年3月29日)	1.4488	0.02	11.69	11.85	795,037,571.16
第8会計年度末 (2014年3月31日)	1.6890	0.02	18.88	19.07	1,003,353,516.94
第9会計年度末 (2015年3月31日)	1.7579	0.02	5.94	6.03	1,528,862,714.95

V. 報酬および費用ならびに役務の内容

費用の明細

項目	料率	役務の内容
管理報酬およびポートフォリオ管理会社(CAC、預託機関、販売会社、弁護士)に支払われる外部管理報酬 ^(注1)	最高で、純資産額に対する年率0.45%	管理会社のサービスに対する対価
保管報酬	純資産額に対する年率0.025%	ファンド資産の保管および管理の対価
管理事務代行報酬	純資産額に対する年率0.025%	ファンドの純資産価額の計算を含むファンドの管理事務および会計管理の対価
アウト・パフォーマンス・フィー ^(注2)	該当なし	管理会社のサービスに対する成功報酬
振替手数料	該当なし	振替手続きのサービスの銀行に対する対価

(注1) 取引手数料、アウト・パフォーマンス・フィー、UCITS への投資に伴う諸手数料を除く、すべての手数料が含まれています。除かれる取引手数料には、仲介手数料(証券会社の取引手数料、株式市場の取引税など)の他に、関連性がある場合には、特にカストディアン銀行や管理会社が徴収する可能性がある取引手数料も含まれます。

(注2) 本ファンドが目標リターンを上回るパフォーマンスを達成した場合に、アウト・パフォーマンス・フィーが管理会社に供与され、本ファンドに請求されます。また、本ファンドに請求された取引手数料も報酬に加えられることがあります。

VI. 投資の対象とする有価証券の主な銘柄

2015年3月31日現在

	投資対象の株式銘柄	数量	投資金額時価		投資比率 (%)
			(ユーロ)	(千円)	
1.	AHNEUSER-BUSH INBEV	1,277,591	145,389,855.80	19,781,744	9.51
2.	BASF SE	1,514,547	140,171,324.85	19,071,710	9.17
3.	BAYER AG	997,188	139,556,460.60	18,988,052	9.13
4.	ALLIANZ SE-NOM	581,174	94,063,011.90	12,798,213	6.15
5.	SIEMENS AG-NOM	771,358	77,675,750.60	10,568,563	5.08
6.	DEUTSCHE TELEKOM AG-NOM	4,164,932	71,012,090.60	9,661,905	4.64
7.	BANCO SANTANDER SA	9,646,048	67,686,318.82	9,209,401	4.43
8.	DEUTSCHE BANK AG-NOM	1,804,390	58,390,060.40	7,944,552	3.82
9.	UNILEVER CVA	1,153,193	44,876,505.60	6,105,897	2.94
10.	MAGNIT GDR SPONSORED	748,579	35,581,897.53	4,841,273	2.33
11.	ESSILOR INTERNATIONAL	317,797	33,940,719.60	4,617,974	2.22
12.	SAP AG	496,327	33,516,962.31	4,560,318	2.19
13.	DANONE	506,072	31,690,228.64	4,311,773	2.07
14.	FRESENIUS AG	535,942	29,793,015.78	4,053,638	1.95
15.	VIVENDI	1,276,397	29,516,680.63	4,016,040	1.93
16.	ENDESA	1,630,928	29,356,704.00	3,994,273	1.92
17.	CAIXABANK	5,942,328	26,235,378.12	3,569,586	1.72
18.	INDITEX	794,398	23,736,612.24	3,229,603	1.55
19.	SANOFI	248,949	22,885,881.57	3,113,853	1.50
20.	COMPAGNE DE SAINT-GOBAIN SA	514,148	21,026,082.46	2,860,809	1.38
21.	LUKOIL SP ADR	479,587	20,683,863.91	2,814,247	1.35
22.	GAZPROM OAO-SPON ADR REG	4,502,870	19,931,698.31	2,711,907	1.30
23.	AIRBUS GROUP NV	282,049	17,047,041.56	2,319,420	1.12
24.	JAPAN TOBACCO INC	557,285	16,443,871.79	2,237,353	1.08
25.	DEUTSCHE POST AG-NOM	528,245	15,369,288.28	2,091,145	1.01
26.	VOLKSWAGEN AG-PFD	61,486	15,239,305.10	2,073,460	1.00
27.	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A	542,603	15,103,354.51	2,054,962	0.99
28.	STADA ARZNEIMITTEL	450,978	14,023,160.91	1,907,991	0.92
29.	ROSNEFT OJSC-GDR	3,342,602	13,398,418.63	1,822,989	0.88
30.	HUGO BOSS AG	102,814	11,643,685.50	1,584,240	0.76

上位 30 銘柄を含む投資有価証券時価総額は、1,546,833,804.40 ユーロ(約 210,462,207 千円)です。

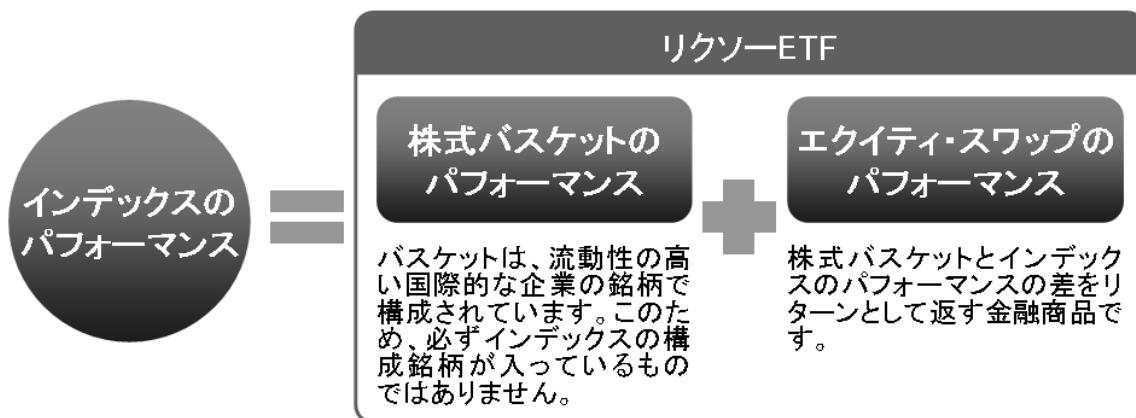
(注) 投資比率は、投資総額に対してではなくファンドの純資産額に基づくものです。

【参考情報】リクソーETFの運用の特徴について

リクソーETFでは、その運用に「シンセティック・リプリケーション」という手法を利用しています。シンセティック・リプリケーションとは、『運用資産を「合成（シンセティック）」して、インデックスを「複製（リプリケーション）」する』という意味です。

この手法では、運用者によって選択された銘柄（一般的にこれらの銘柄は、インデックスの構成銘柄ではありません。）に投資するとともに、インデックスを厳密に複製するために、「エクイティ・スワップ」に投資します。このエクイティ・スワップは、ファンドが保有している銘柄（「株式バスケット」といいます。）のパフォーマンスとインデックスのパフォーマンスの差を提供する金融商品です。

この手法を図示すると、次のとおりです。



※上図は運用方法を簡単に説明するための概念図であり、実際の運用方法と完全に一致するものではありません。また、リクソーETFの運用成果がインデックスのパフォーマンスに完全に一致することを保証するものでもありません。

ファンドはこの手法により、インデックスの複製の最適化が可能となり、複製コストの最小化によりインデックスへの連動性を高めることができます。

※株式バスケットは、流動性の高い国際的な企業の銘柄で構成されています。このため、必ずインデックスの構成銘柄が入っているものではありません。